

第6学年道徳科学習指導案

日 時 令和6年11月6日（水） 5校時

学 級 6年1組 計26名

授業者 内田 浩昭

1 主題名 真の友情 【内容項目 B（10） 友情，信頼】

2 教材名 ロレンゾの友達 （学研「新版・みんなの道徳6」）

3 主題設定の理由

（1）価値について

本主題は、小学校学習指導要領の第5学年及び第6学年の内容項目Bの「主として人との関わりに関すること」の（10）「友達と互いに信頼し，学び合って友情を深め，異性についても理解しながら，人間関係を築いていくこと。」を深めることをねらいとしたものである。これは中学年の内容項目「友達と互いに理解し，信頼し，助け合うこと。」を受け，さらに中学校の内容項目B（8）へとつながっていくものである。6学年になると，児童は学校の中心となり，落ち着いてくる一方で，固定化した人間関係の中で，仲のよい友達しか受け入れられないような傾向も見られる。また，お互いの人間関係に遠慮し，間違いを指摘することにためらいもある時期だと考える。そのため，友達との関わりについて考えることで，これまでの友達との関わりについて振り返り，お互いに信頼し合い，よりよい人間関係を築こうとする意欲を育てたいと考え，本主題を設定した。

（2）これまでの学習状況及び児童の実態について

(3) 教材の特質

本教材は、友達としてどのような対応をすればよいのかを考え、問題解決的に正しい行為を模索していけるように物語が設定されている。アンドレ、サバイユ、ニコライの3人は、共通の友達であるロレンゾからの手紙を受け取る。ロレンゾが20年ぶりに故郷に帰ってくるという内容の手紙だが、3人はロレンゾが警察に追われているという噂を耳にする。ロレンゾに再会したとき、3人はどうすべきか。逃がすのか、警察へ行くのか。友達としてどう対応することができるかを、多様な意見を出し合い、考えることができる教材である。この教材の特性を生かし、本当の友達の在り方を様々な角度から意見を出し合うことで、友達との関わりについて考え、よりよい人間関係を築くことの大切さに気付かせていく。

4 研究に関わって

本授業を展開するにあたり、以下の児童の姿を重点として授業づくりを進めていく。

- 3人の立場から共感できる人物の視点に立たせる。そして、児童自身がこれまでの経験から立場を明確にしながら、話合う活動を通して、自己の考えを変えたり、広げたりしていくように支えていく。その際に、自分の考えに近い児童、考えの異なる児童と積極的に交流し、自己の考えを深めていく。【授業づくりの視点2】
- 友達を思う気持ちが強くあるが、それでも疑ってしまった心情も理解しながら、交流の中で友達との関わりについて考えを広め、主発問に対しての自己の考えを深めていく。【授業づくりの視点3】

また、重点項目ではないが視点4に関わっては、導入においてアンケート機能を活用し、自分事として問題を捉え、本時の学習課題を明確にしていく。そして、視点5に関わり、自分の考えをテキストに記入し交流することで、学びを深めていけるようにしていく。終末段階では、振り返りをロイロノートで提出することで、これまでの児童の考えを蓄積し、評価にも繋げていく。子供たちが主体的に学びに向かえるよう、指導過程の工夫を行う。本時は主に視点2と3を重点として授業を展開していく。

5 本時の学習指導過程

(1) ねらい

互いに信頼し、高め合い、本当の友達関係を築こうとする意欲を育てる。

(2) 準備物

場面絵、道徳ノート、タブレット

(3) 本時の展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ○研究内容との関わり 〈 〉 評価
導入 5分	1 学習課題を設定する ○友達とはどんなものでしょう。	・何でも話せる。 ・優しくしてくれる。 ・困っていたら助けてくれる。 ・いつでも遊べる。	・事前アンケートをもとに本時の学習についての方向性を図る。 (アンケート結果の提示) ・課題意識を持たせる。
	「本当の友達」とは何だろう。		
展開 前段	2 教材をもとに話し合う。 ○3人の考えをどう思いますか？ ○誰の考えに共感しますか？ ○どうして3人ともロレンゾに昨夜話し合ったことを言わなかったのだろう。 ○本当の友達ってどんな関係だろう。	《 アンドレ 》 ・捕まってほしくない。 《 サバイユ 》 ・罪は償うべきだが、事情があったなら捕まってほしくない。 《 ニコライ 》 ・きちんと罪は償わなければならない。 ・友達だから助けたい。 ・友達でも罪は償うべきだ。 ・何か理由があるかもしれないからまずは、話を聞いてみたい。 ・友達だからこそ一緒に警察へ行く。 ・少し疑ってしまった自分がいる。 ・信じきれなかった。 ・何でも言い合える友達 ・困ったら助けてくれる友達 ・間違っていたらはっきり言ってくれる人	・3人の考えを整理し、何が問題なのか、何で悩んでいるのかを把握できるようにする。 ・場面絵を提示し、登場人物の考えを視覚的にとらえやすくする。 ・3人の立場に立って考えることで、多面的・多角的に考えられるようにする。◆視点② ・ロイロノートに誰の考えに共感するかを記入し、主体的な考えを持ち、周囲と意見交換を行っていく。◆視点③ ・友達を思う強い気持ち中に存在する、信じきれなかった心にも触れ、主発問への考えの深まりを持たせる。◆視点③ ・本当の友達とはどんな友達なのかという課題に対して大切だと思うことを自分の言葉でまとめさせる。

25分		・その時の気持ちや場面を考えて、真剣に考えてくれる人 ・友達を最後まで信じてあげる人	
展開後段 8分	3 自己を見つめ自己の生き方について考えを深める。 ○今までの自分は友達ってどういう考えでしたか？	・いつも一緒にいる人が友達だと思っていた。 ・優しくしてくれる人が友達だと考えていたけど、そうではなくて、正しいことを伝えられる人。そして、分かってくれる人が友達だと思う。 ・友達って言っても信じきれない時もあった。 ・気軽に話せるのが友達だと思っていたけど、言いにくいことも言えることが友達だと考えた。	・事前アンケートにもふれながら自分自身の友情観をふり返り、これから大切にしたい友情観をロイロノートに書くことで、自分を見つめ直すことができるようにする。 ◇真の友情を育むために大切なことについて自分との関わりでとらえ、これから自分が大切にしていきたいことを考えているか。〈発言、ロイロノート〉
終末 7分	4 本時の学習を振り返る。 ○本時の学習で考えたことはどんなことですか。 ○ChatGPTでは本当の友達をどうとらえているだろう	・本当の友達とは友達のことを真剣に考え、信じてあげることだ。 ・友達だからこそ、言いにくいことは言ってあげたい。	◇本時の学習を基に本当の友達について自分なりの考えを記入する。〈ワークシート〉 ・ChatGPTの考えに触れることで本時の学びを深める。

6 板書計画

相手のことを真剣に考え、信じてあげること

ロレンゾの友達

十一月六日

サバイユ・・・ロレンゾの気持ちを尊重するニコライ・・・罪は罪だから

本当の友達とは

- ・何でも言い合える人
- ・困っていたら助けてくれる人
- ・間違っていたら、ちゃんと伝えてくれる人



アンドレ



サバイユ



ニコライ

